

## 株主メモ

事業年度 毎年4月21日から翌年4月20日まで

定時株主総会 毎年7月

基準日 定時株主総会・期末配当…毎年4月20日  
中間配当……………毎年10月20日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および  
全国各支店で行っております。

### ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の  
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# DAISAN<sup>®</sup> Report

## 第38期ご報告書

### CONTENTS

- 02 株主の皆さまへ
- 03 業績ハイライト
- 04 トップインタビュー
- 06 「社内検定ビケ足場施工」全現場有資格者施工体制確立
- 08 貸借対照表／損益計算書
- 10 キャッシュフロー計算書／株主資本等変動計算書
- 11 会社／株式情報

株式会社ダイサン

証券コード:4750

## 株主の皆さまへ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。平素のご支援ご鞭撻に対し厚く御礼申し上げますとともに、平成24年(2012年)度4月期の業績についてご報告申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興事業により企業活動の回復がみられるなど、一部では緩やかに持ち直しつつあります。しかしながら、雇用・所得環境の低迷、南欧諸国の債務危機を発端とする金融市場の混乱、円高基調の継続など、景気回復に対する懸念材料により、先行きが不透明な状況が続いております。

このような情勢の中で、当社に関連の深い住宅・建築業界におきましては、住宅取得に向けての優遇金利、フラット35Sや住宅エコポイントの再開など、政府による支援策の効果もあり、震災による低迷から回復しつつも、個人消費の抑制志向が続いております。

当社におきましては平成23年2月、厚生労働省の認定を受けた『社内検定ビケ足場施工』を核に、施工サービスの品質向上を図ると共に、住宅足場の手すり先行工法『ビケ足場BX工法®』の普及に努めることで、安全・安心・感動の施工サービスの提供に取り組む傍ら、組織的なコスト構造の改善も進めてまいりました。

また、製商品販売事業においては、住宅・建築業界の復

旧需要に下支えされ、グループ事業として施工品質改善の取り組みや、市場創造努力などが奏功し、部材の販売が大きく伸張しました。

結果として、足場施工を主体とする施工サービス事業で5,180百万円(前年同期比0.4%増)と横ばいながらも、ビケ部材の販売を中心とする製商品販売事業で2,446百万円(同59.4%増)と全社売上高に大きく貢献することとなりました。

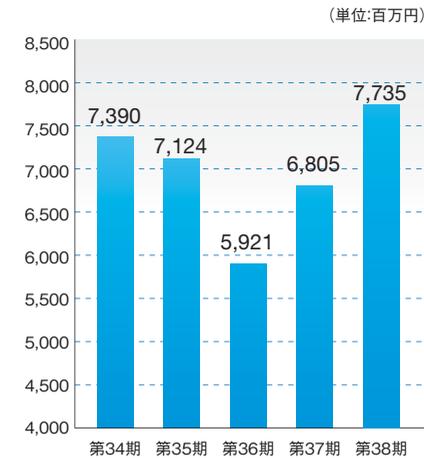
当事業年度における売上高は7,735百万円(前年同期比13.7%増)となりました。利益につきましては、営業利益580百万円(同149.2%増)、経常利益580百万円(同149.3%増)となり、当期純利益は397百万円(同62.9%増)となりました。

当社をとりまく環境は、前事業年度における震災後の反動需要の一服感から、第1四半期より緩やかな回復基調になると予想しております。当社におきましては積極的に人的資源の増強やサービス・製品の拡販に努めることで、シェアを確保してまいります。

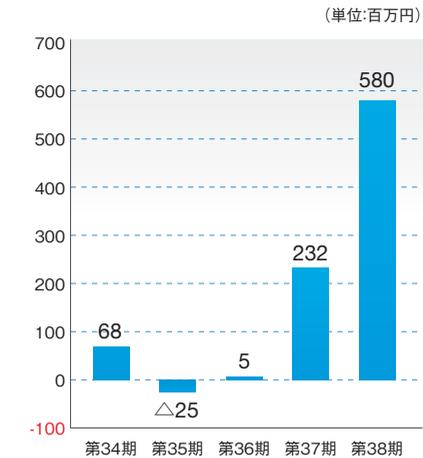
具体的には施工サービス事業では、施工スタッフの増強、住宅足場の新工法である『ビケ足場BX工法®』の拡販、『ビケ足場品質保証システム』の推進、製商品販売事業では、新たな販売チャネルの開拓を目指すとともに、経営品質の向上に努めて売上高、利益を適正に確保してまいります。

## 業績ハイライト

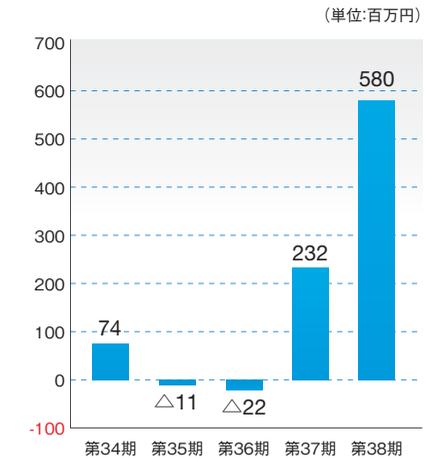
## 売上高



## 営業利益



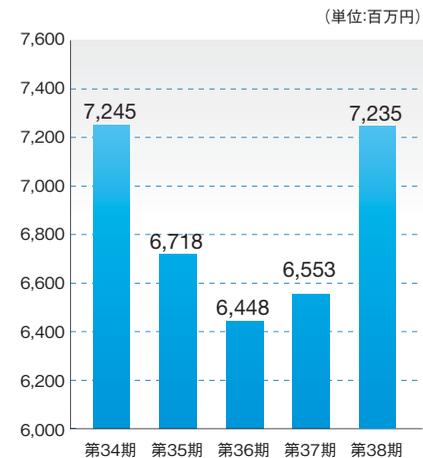
## 経常利益



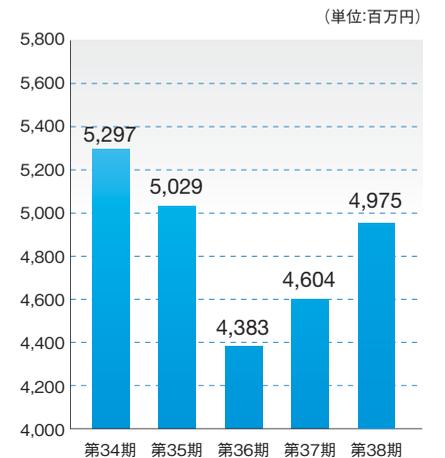
## 1株当たり当期純利益又は損失



## 総資産



## 純資産



## トップインタビュー

## 厚生労働省認定「社内検定ビケ足場施工」

全現場の有資格者施工を確立し、施工サービス業へ向けて邁進します。



## Top Interview

代表取締役社長  
三浦 基和

**Q** 今後の業績拡大に向けて  
注力すべき分野を教えてください

**A** まず、今期業績において大きく伸長した分野は製商品販売部門でした。これは震災後に発生した流通等の混乱と復旧需要により、一時的に全国で足場部材が逼迫したことが主な要因です。今後も復興需要が高まるかと思いますが、当社の製商品販売部門はビケ足場部材が主力製品であり、販売先の中心をビケグループとしていることから、極端に大きな需要が出てくるとは考えておりません。

一方、本業である施工サービス部門においても東北地方には直営事業所を展開していないことから、復興需要が直接業績に影響するものではございませんが、全国的には緩やかな市場回復を予測しております。そのような中、昨年12月に新たに1事業所を開設し現在5つの事業所を展開している首都圏は、特に市場拡大の余地が大きいと考えております。また、現在注力しております2つの施策により、大手ハウスメーカーを中心としたシェア拡大を進めてまいります。

**Q** 施工サービスにおける2つの施策とは  
どのようなものですか

**A** 一つ目は厚生労働省が推奨する手すり先行工法のガイドラインを充足し、更に足場施工時のトラブルを減少できる住宅足場の手すり先行工法「ビケ足場BX工法®」であります。これは既に全社標準化を終えており、特に安全を重視する大手ハウスメーカーに、好評を頂いております。

二つ目は『ビケ足場品質保証システム』の取り組みの一環として、昨年2月に厚生労働省の認定を受けた『社内検定ビケ足場施工』です。これは施工スタッフの知識・技能を向上させることにより、完成した足場だけではなく施工プロセスまでを含めた質を向上させるものであります。

本資格の取得は日々施工に従事する施工スタッフにとっても容易なことではありませんが、期末の段階で施工現場を指揮する全てのチーフの資格取得を実現することができました。これにより今後当社がご提供する施工サービスは全現場有資格者施工を実現したことになります。

**Q** 全現場有資格者施工を実現した  
厚生労働省認定「社内検定ビケ足場施工」を  
今後どのように活用されますか

**A** 私どもはモノ貸し発想の「足場レンタル業」から「施工サービス業」へと発想を変え事業展開しており、その核となるのがヒトの質であると考えております。今般、全現場有資格者施工を実現したことにより、当社がご提供する施工サービスは、施工プロセスや施工スタッフの考え方も「安全・安心・感動」の考えに根ざしたものとなり、より均一で質の高いサービスをご提供することができます。

今後は、チーフ候補者の積極的な取得推進は勿論のこと、施工スタッフ以外の従業員にまで対象を広げて、当社の基礎知識として「社内検定ビケ足場施工」に基づいた教育を行い、お客様により現場に即した提案ができるように体制

を構築してまいります。

**Q** 施工スタッフの教育に注力される意図は  
どこにあるのでしょうか

**A** 足場業界ではこれまで施工スタッフの成長の観点を持ち得ておらず、モチベーション向上や、プライドをもった仕事として取り組んでもらう土壌がなかったと思います。当社では厚生労働省認定「社内検定ビケ足場施工」に加え、施工スタッフを階層分けする「施工スタッフ資格制度」をスタートさせ自身の成長を感じさせるなど、様々な制度を構築しております。これにより知識・技能の向上を目指すとともに、「施工サービス業の担い手」として施工スタッフに自身の仕事のあり方を変えてもらいたいと考えており、積極的な取り組みを行っております。

**Q** 最後に総括をお願いします

**A** 前述のとおり、震災復興需要は業績に大きく影響をしないものと考えております。一方、大手ハウスメーカーはその品質の優位性により市場での影響力を高め、シェアを一段と拡大すると予測しておりますが、2つの施策は大手ハウスメーカーが求めるベクトルを向いており、シェアアップを図れるものと確信しております。

今後も「第三者」「足場使用者」「足場施工者」の安全を確保し、『安全・安心・感動』をモットーに事業拡大を継続し、適正な収益を確保してまいります。

## 厚生労働省認定 社内検定制度 全現場有資格者施工体制を確立

(2012.4.20現在)

### 教育実施

全現場有資格者施工を目指し、未取得者の勉強会を実施。  
2012.4.20までにチーフ全員の取得をサポートしました。

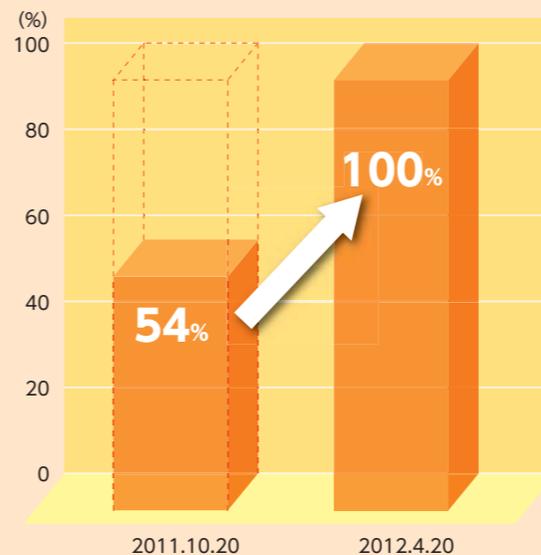


## 「ビケ足場施工」

2011.10.21以降も教育の実施など資格取得の推進を行い、  
期末において全てのチーフが資格を取得いたしました。  
これにより、当社がご提供する足場施工サービスは全現場が有資格者による施工となりました。  
業界をリードする知識・技能・考え方をを持った「ビケ足場施工士」の足場施工サービスにより、  
「第三者」「足場使用者」「足場施工者」の安全を確保し、より均一で質の高いサービスをご提供してまいります。

### 全現場有資格者施工体制確立

■施工スタッフを指揮するチーフのビケ足場施工士  
取得割合の推移



一級ビケ足場施工士 2012.4.20現在 **7名**



二級ビケ足場施工士 2012.4.20現在 **131名**



2011.10.20  
全現場  
有資格者施工を  
目指します

## 貸借対照表／損益計算書

## 貸借対照表(借方)

(単位:千円)

科目	当事業年度 (平成24年4月20日現在)	前事業年度 (平成23年4月20日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,727,131	4,112,087
現金及び預金	1,857,282	1,460,399
受取手形	706,351	611,800
売掛金	929,361	912,320
たな卸資産	1,114,114	1,011,828
繰延税金資産	89,804	93,587
その他	48,236	41,627
貸倒引当金	△ 18,018	△ 19,476
固定資産	2,507,962	2,441,386
有形固定資産	1,771,107	1,793,949
建物及び構築物	273,547	274,669
土地	1,450,583	1,450,583
その他	46,976	68,696
無形固定資産	167,394	156,177
投資その他の資産	569,461	491,259
投資有価証券	270,055	196,226
差入保証金	181,805	182,891
その他	153,950	145,565
貸倒引当金	△ 36,351	△ 33,424
資産合計	7,235,093	6,553,473

## 貸借対照表(貸方)

(単位:千円)

科目	当事業年度 (平成24年4月20日現在)	前事業年度 (平成23年4月20日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,509,542	1,334,121
支払手形	283,570	215,504
買掛金	289,494	293,148
1年以内償還予定の社債	260,000	180,000
1年以内返済長期借入金	16,300	130,300
未払法人税等	187,328	30,504
未払費用	151,513	152,981
賞与引当金	121,823	110,107
その他	199,513	221,574
固定負債	749,994	614,741
社債	570,000	450,000
長期借入金	—	16,300
役員退職慰労引当金	88,100	81,800
繰延税金負債	40,806	16,516
資産除去債務	51,088	50,125
負債合計	2,259,537	1,948,863

## 貸借対照表(貸方)

(単位:千円)

科目	当事業年度 (平成24年4月20日現在)	前事業年度 (平成23年4月20日現在)
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,910,149	4,588,694
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	649,860
利益剰余金	3,708,492	3,387,037
自己株式	△ 14,962	△ 14,962
評価・換算差額等	65,406	15,915
その他有価証券評価差額金	65,406	15,915
純資産合計	4,975,556 <sup>※1</sup>	4,604,610
負債・純資産合計	7,235,093	6,553,473

※1 純資産につきましては、残高が4,975百万円となり、370百万円増加しました。

## 損益計算書

(単位:千円)

科目	当事業年度 (自平成23年4月21日 至平成24年4月20日)	前事業年度 (自平成22年4月21日 至平成23年4月20日)
売上高	7,735,171 <sup>※1</sup>	6,805,569
売上原価	5,795,951	5,296,825
売上総利益	1,939,219	1,508,743
販売費及び一般管理費	1,358,941	1,275,856
営業利益	580,278	232,886
営業外収益	29,039	23,843
営業外費用	28,557	23,796
経常利益	580,759	232,933
特別利益	—	2,888
特別損失	1,872	58,081
税引前当期純利益	578,886	177,740
法人税、住民税及び事業税	179,000	22,000
法人税等調整額	2,772	△ 87,989
当期純利益	397,114	243,730

※1 売上高は7,735百万円(前年同期比13.7%増)となりました。施工サービス事業で5,180百万円(同0.4%増)、製商品販売事業で2,446百万円(同59.4%増)となりました。

## 当冊子の表記につきまして

本報告書は通期決算短信の数値、文章を基に作成しております。

その後に公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

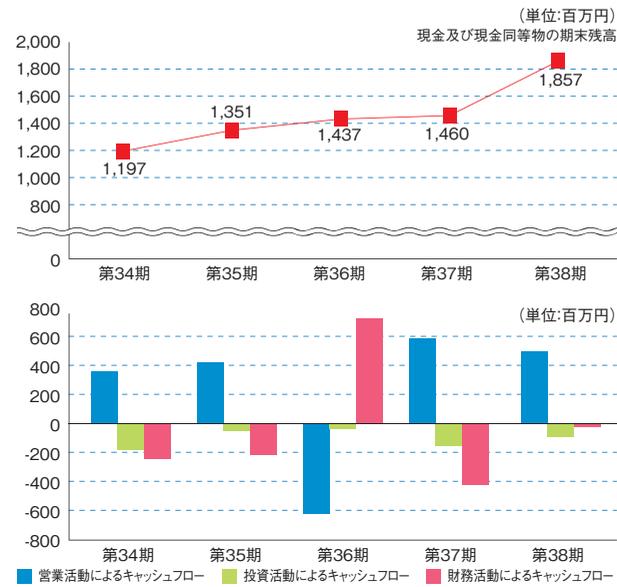
●金融庁EDINET <http://info.edinet-fsa.go.jp> ●当社ホームページ <http://www.daisan-g.co.jp>

キャッシュフロー計算書／株主資本等変動計算書

キャッシュフロー計算書

(単位:千円)

科目	当事業年度 (自平成23年4月21日 至平成24年4月20日)	前事業年度 (自平成22年4月21日 至平成23年4月20日)
営業活動による キャッシュフロー	510,531	597,056
投資活動による キャッシュフロー	△ 97,657	△ 151,399
財務活動による キャッシュフロー	△ 15,990	△ 422,546
現金及び現金同等物 の増減額	396,882	23,111
現金及び現金同等物 の期首残高	1,460,399	1,437,287
現金及び現金同等物 の期末残高	1,857,282	1,460,399



株主資本等変動計算書

(自平成23年4月21日  
至平成24年4月20日)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
前期末残高	566,760	649,860	3,387,037	△ 14,962	4,588,694	15,915	4,604,610
当期変動額							
剰余金の配当			△ 75,659		△ 75,659		△ 75,659
当期純利益			397,114		397,114		397,114
自己株式の取得					—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	49,491	49,491
当期変動額合計	—	—	321,454	—	321,454	49,491	370,945
当期末残高	566,760	649,860	3,708,492	△ 14,962	4,910,149 <sup>※1</sup>	65,406	4,975,556

※1 株主資本合計の当期末残高は、321百万円増加して4,910百万円となりました。

会社／株式情報

会社概要

(2012年4月20日現在)

商号：株式会社ダイサン DAISAN CO., LTD.  
 設立：昭和50(1975)年4月1日  
 本社：大阪市中央区南本町2-6-12 サンマリオンNBFタワー3階  
 資本金：566,760,000円  
 従業員数：318名(112名)  
 臨時雇用者数は( )外数で記載しております。

役員構成

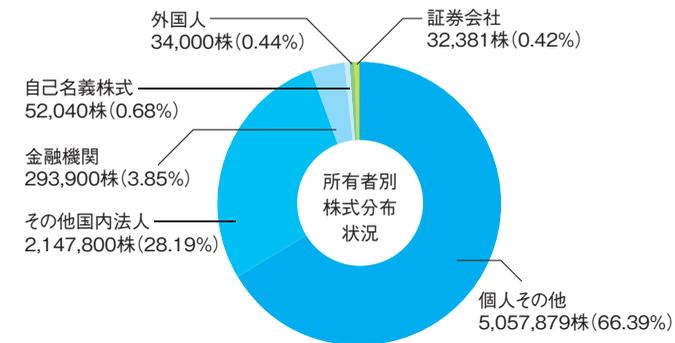
(2012年4月20日現在)

代表取締役社長：三浦 基和  
 専務取締役：金山 修二  
 取締役：上村 信太郎  
 取締役：藤田 武敏  
 取締役：岡光 正範  
 常勤監査役：森 義明  
 監査役：斐 薫  
 監査役：石 光仁

株式情報

(2012年4月20日現在)

発行可能株式総数：26,000,000株  
 発行済株式総数：7,618,000株(自己株式を含む)  
 株主数：1,060名



事業所所在地

(2012年4月20日現在)



大株主の状況(上位10社)(2012年4月20日現在)

所有者	株数	保有比率
三浦 基和	1,248,000	16.49%
エスアールジータカミヤ株式会社	1,061,000	14.02%
ダイサン取引先持株会	614,000	8.12%
有限会社和顔	424,000	5.60%
大原 春子	343,200	4.54%
ダイサン従業員持株会	302,000	3.99%
金沢 昭枝	275,200	3.64%
三浦 民子	271,000	3.58%
大阪中小企業投資育成株式会社	200,000	2.64%
三浦 宣子	128,000	1.69%

(注)持株比率は自己株式(52,040株)を控除して計算しております。